

赤潮発生状況速報（第 1 2 号）

福岡県水産海洋技術センター資源環境課

お問い合わせ先：092-806-0876

調査年月日 平成27年11月24日

通報日 平成27年11月25日

(1)発生日時

平成27年11月20日～

(2)発生海域

福岡湾

(3)発生状況

福岡湾中央部のノリ漁場周辺で変色

(4)水色

くらいあかみのだいだい（15番）？

(5)優先種および密度(Cells/ml)

ラフィド藻類 (*Heterosigma akashiwo*)

最大密度 95,000cells/ml

ミドリムシ類 (*Eutreptia pertyi*)

最大密度 2,150cells/ml

(6)漁業被害

不明

(7)その他

ラフィド藻類 (*Heterosigma akashiwo*) は海水 1ml 中の細胞数が 5,000 程度で海水の着色が見られ、細胞数が 10,000 以上になると生け簀内の魚類に斃死が見られるようになります。

さらにこの値が数日間継続すれば天然魚でも被害が見られるようになります。

Heterosigma akashiwo は、昼間は表層で光合成を行います、夜間は底層で分裂し、その際に水中の酸素を消費して酸欠をまねくことがあります。このため漁港内の活け間等で魚介類の蓄養等を行う際は注意をお願いします。

また、昼間の活発な光合成を行う際、有害な活性酸素をつくり、魚にダメージをあたえることもありますので、注意をお願いします。

さらに増殖する際は海水中の栄養塩を吸収しますので、ノリの色落ちやワカメの生育不良などに注意して下さい。

(8)参考図

